

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習 I	堀田 学	1 年次	春

授業のキーワード	調べる、読む、話す
授業の概要	短大や大学ではある特定の課題について「調べる」「読む」「話す（発表する）」ということが重要になってきます。この演習ではそれらの能力を修得することを目的とします。また、日本漢字能力検定（漢検）の合格を目指し、そのための学習も行います。単に漢字を「読む」「書く」という知識だけではなく、漢字の意味を理解し、文章の中で適切に使える能力を養います。
期待される学習成果（目標）	1. 基礎的な漢字の読み書きができるようになる。 2. ある事柄について調べ、発表することができる。 3. 短大での生活に慣れる。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容		
第 1 講	合同ゼミ		第 9 講	合同ゼミ			
第 2 講	オリエンテーション	この授業のオリエンテーションと進め方についての説明と自己紹介をしてもらいます。	第 10 講	本を読む 4	指定した本を 1 章ずつ担当者を決めて要約し、全員で議論を深めていきます。		
第 3 講	新聞を読む 1	全国紙、地方紙、業界紙など新聞の種類を紹介し、日々新聞を読む重要性を認識してもらいます。	第 11 講	資料収集の方法 1	資料収集、参考文献やコピー&ペーストなどについて学びます。		
第 4 講	新聞を読む 2	各自注目した新聞記事を持ち寄り、その記事の解説と報告を行ってもらいます。	第 12 講	資料収集の方法 2	図書館（大学、公立、他大学）の利用方法や実際の資料収集の方法を学びます。		
第 5 講	合同ゼミ		第 13 講	合同ゼミ			
第 6 講	本を読む 1	指定した本を 1 章ずつ担当者を決めて要約し、全員で議論を深めていきます。	第 14 講	レポート作成と発表	レポートの作成を各自行い、発表をする。その発表を踏まえて全員で議論する。		
第 7 講	本を読む 2	指定した本を 1 章ずつ担当者を決めて要約し、全員で議論を深めていきます。	第 15 講	まとめ	レポート提出		
第 8 講	本を読む 3	指定した本を 1 章ずつ担当者を決めて要約し、全員で議論を深めていきます。	定期 試験		期末レポート		
評価方法	期末レポート（100%）。ただし、出席含む授業貢献度も加味します。なお卒業時までに「漢検」に合格することが「基礎演習 I」の成績評価の前提となります。評価方法の詳細は、初回の授業や「合同ゼミ」において説明します。ただし、すでに日本漢字能力検定 3 級以上を取得している人はこの限りではありません（要証明書）。						
使用する教科書（必ず購入してください）	参考文献						
齋藤孝『頭が良くなる議論の技術』講談社現代新書、2013 年 学校指定の漢検テキスト							